

## 仕事始め式

H29.01.04 (水)

皆さん、明けましておめでとうございます。

今年の年末年始の休暇は、例年より短かったのですが、皆さん、ゆっくりされたでしょうか。

正月3が日は、お天気も比較的良く、報道によりますと、出雲大社や津和野の太鼓谷稲荷神社でも参拝者は、昨年より少し多かったようであります。

年末にも申し上げましたが、県内の観光客はこのところ増える傾向にあり、私どもは、この勢いをさらに進め、「観光島根」のキャンペーンを今年も全力を挙げて取り組んで行かなければ、なりません。

この観光では、古き文化・歴史が豊かな自然の中で受け継がれてきて、これが真面目で親切な県民の方々によって守られていることが、島根の魅力になっているのでありますが、この魅力がUIターンや企業立地などにも大きなプラスの効果をもたらしています。

また、そのためにも高速道路網の整備や、空や海での交通網の充実・化が大切であります。

もうひとつ大事なことは、こうした我々の大人の努力に加えて、子供たちが島根の住み良さや魅力を感じたり、理解することにあります。

そのためには教育委員会のふるさと教育も引き続き進めていかなければなりません。

さらに、島根は子供を産み、育てるのにいい所であるということを若い人達に知ってもらい、実感してもらうために、県は結婚、子育てのための支援を引き続き充実・強化していかなければなりません。

そしてまた、ご高齢の皆さんにとっても、医療、介護でも住みやすい島根でなければなりません。

以上申し上げたことは、一昨年作成した「総合戦略」のコアとも言うべき部分でありまして、今年もこの「総合戦略」を推進していくことが、我々に課された大事な任務であります。

皆さん、一緒に努力していきましょう。

島根の中の状況は、以上の通りであります。目を外の世界に向けますと、特に、元旦からの新聞を見ますと、1月20日に米国新大統領になるトランプ氏の下で米国の外交戦略が大きく変わるのではないかと、それにより日本も大きな影響を受けるのではないかと、といった報道もみられます。

ここ2～30年間に起こった世界経済の一体化・グローバル化により米国の中流以下の労働者層の生活はむしろ悪化してきたと言われていています。

この不満をトランプ氏は「米国第一」という極端なナショナリズム政策で吸収して大統領に選ばれたとか、ポピュリズムに理解を示している、などと、米国の報道は見ているようです。

欧州で英国がEUからの離脱を選択したのも、米国と似たようなグローバリズムからナショナリズムへの転換がその背景にあるとの見方があります。

さらに、経済的にも軍事的にも世界の強大国のひとつとなった中国への対策として、トランプ氏はロシアとの関係改善を目指すという報道も見られます。

日本は中国ともロシアとも領土に絡んだ問題がありますので、情勢をよく見て対応しなければならないでしょう。

こうした世界的な動きは、これまでなかった新たな動きであり、日米の連携・協力を最も大事な基盤としてきた日本外交に、そして日本の経済や財政にどのような影響が出てくるのか、はまだ分かりません。

こうした大変難しい世界情勢もありますが、私どもは県政の発展・安定に今年も全力をあげてまいりますので、よろしくごお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。